

『祈りの答えを待つ恵み』

●本日の聖書箇所 ・ヨハネ 11 章(新改訳第 3 版 抜粋)

11:1 さて、ある人が病気にかかっていた。ラザロといって、マリヤとその姉妹マルタとの村の出で、ベタニヤの人であった。11:2 このマリヤは、主に香油を塗り、髪の毛でその足をぬぐったマリヤであって、彼女の兄弟ラザロが病んでいたのである。11:3 そこで姉妹たちは、イエスのところに使いを送って、言った。「主よ。ご覧ください。あなたが愛しておられる者が病気です。」11:4 イエスはこれを聞いて、言われた。「この病気は死で終わるだけのものではなく、神の栄光のためのものです。神の子がそれによって栄光を受けるためです。」11:5 イエスはマルタとその姉妹とラザロとを愛しておられた。11:6 そのようなわけで、イエスは、ラザロが病んでいることを聞かれたときも、そのおられた所になお二日とどまられた。11:7 その後、イエスは、「もう一度ユダヤに行こう」と弟子たちに言われた。11:8 弟子たちはイエスに言った。「先生。たった今ユダヤ人たちが、あなたを石打ちにしようとしていたのに、またそこにおいでになるのですか……」

11:17 **それで、イエスが**おいでになってみると、ラザロは墓の中に入れられて四日もたっていた。11:18 ベタニヤはエルサレムに近く、三キロメートルほど離れた所にあった。11:19 大ぜいのユダヤ人がマルタとマリヤのところに来ていた。その兄弟のことについて慰めるためであった。11:20 マルタは、イエスが来られたと聞いて迎えに行った。マリヤは家ですわっていた。11:21 マルタはイエスに向かって言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。11:22 今でも私は知っております。あなたが神にお求めになることは何でも、神はあなたにお与えになります。」11:23 イエスは彼女に言われた。「あなたの兄弟はよみがえります。」11:24 マルタはイエスに言った。「私は、終わりの日のよみがえりの時に、彼がよみがえることを知っております。」11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。11:26 また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」11:27 彼女はイエスに言った。「はい。主よ。私は、あなたが世に来られる神の子キリストである、と信じております。」

11:28 **こう言ってから、**帰って行って、姉妹マリヤを呼び、「先生が見えています。あなたを呼んでおられます」とそっと言った。11:29 マリヤはそれを聞くと、すぐ立ち上がって、イエスのところに行った。11:30 さてイエスは、まだ村に入らないで、マルタが出迎えた場所におられた。11:31 マリヤとともに家にいて、彼女を慰めていたユダヤ人たちは、マリヤが急いで立ち上がって出て行くのを見て、マリヤが墓に泣きに行くのだろうと思い、彼女について行った。11:32 マリヤは、イエスのおられた所に来て、お目にかかると、その足もとにひれ伏して言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」11:33 そこでイエスは、彼女が泣き、彼女といっしょに来たユダヤ人たちも泣いているのをご覧になると、霊の憤りを覚え、心の動揺を感じて、11:34 言われた。「彼をどこに置きましたか。」彼らはイエスに言った。「主よ。来てご覧ください。」11:35 イエスは涙を流された。11:36 そこで、ユダヤ人たちは言った。「ご覧なさい。主はどんなに彼を愛しておられたことか。」11:37 しかし、「盲人の目をあけたこの方が、あの人を死なせないでおくことはできなかつたのか」と言う者もいた。11:38 そこでイエスは、またも心のうちに憤りを覚えながら、墓に来られた。墓はほら穴であって、石がそこに立てかけてあった。

11:39 **イエスは言われた。**「その石を取りのけなさい。」死んだ人の姉妹マルタは言った。「主よ。もう臭くなっておりましょう。四日になりますから。」11:40 イエスは彼女に言われた。「もしあなたが信じるなら、あなたは神の栄光を見る、とわたしは言ったではありませんか。」11:41 そこで、彼らは石を取りのけた。イエスは目を上げて、言われた。「父よ。わたしの願いを聞いてくださったことを感謝いたします。11:42 わたしは、あなたがいつもわたしの願いを聞いてくださることを知っておりました。しかしわたしは、回りにいる群衆のために、この人々が、あなたがわたしをお遣わしになったことを信じるようになるために、こう申したのです。」11:43 そして、イエスはそう言われると、大声で叫ばれた。「ラザロよ。出て来なさい。」11:44 すると、死んでいた人が、手と足を長い布で巻かれたままで出て来た。彼の顔は布切れで包まれていた。イエスは彼らに言われた。「ほどいてやって、帰らせなさい。」11:45 そこで、マリヤのところに来ていて、イエスがなさったことを見た多くのユダヤ人が、イエスを信じた。

◆本日の説教のポイント

①祈りの応えを待たされるのは、

神が私達を『_____』されているが故である（11:5～6、35～36）

聖書を見ると、多くの場合、主イエスは、病気や困難な状況にある人が願う時、すぐに行動された。しかし、ラザロが病気になったという知らせを聞いた後も、主イエスは2日間もその場所に滞在された。さらに、わざわざ自分の身が危険な所に行って時間を費やされた。マルタも、マリヤも、弟子達も主イエスがすぐに、駆けつけてくれるものと期待していた。なぜ、主イエスは、すぐにラザロのもとに行かれなかったのでしょうか。その理由は、主イエスが、ラザロとその家族を深く愛していたからであったと聖書は記している。

この時のマルタ達の信仰は素晴らしいものであった。ユダヤ教の会堂から追放される事も覚悟して(ヨハネ 9:22)、「主イエスが神の子キリスト(救い主)であり、どのような病も癒すことのできる方」と信じて告白した。しかし、主イエスは、マルタ達が彼らの信じている事以上の素晴らしい神の栄光を体験し、さらに信仰が強められる事を願われた。その事の方が、すぐに祈りが応えられる事よりも、はるかに重要であるがゆえに主イエスはあえて、すぐには応じられなかったのである。

私達も、祈ってすぐに答えられない時もある。また、祈っているのに、ますます状況が悪くなる事がある。「主よ、どうして、すぐに答えて下さらないのですか？」と、私達もマルタ達のように嘆きたくなる時もある。その理由は、ラザロ達を愛されたように、神が私達を深く愛されているがゆえである。

そして、ラザロの死にマルタ、マリヤと共に涙された主イエスは、涙をもって祈る私達と今も共に涙しつつ、尚も語られるのである。「信じるなら神の栄光を見る」と。

神は、私達の考えるよりも、はるかに素晴らしい事を用意しておられる。その事を信じて、私達もさらに素晴らしい神の栄光を体験する者となろう。

●あなたは、祈り続け、待ちに待って祈りが答えられた事を体験したり、見聞きした事がありますか。

また、祈りの応えを待ち続けている事がありますか。

共に分かち合って励まし合い、祈り合いましょう。
